



エコメッセフェス 20

**GO! GO! エコメッセ**  
 ~エコメッセ 20年 これまでとこれから~  
**5月 21日(日)10:30~16:00**  
 (受付 10:00~)

**中野サンプラザ 14F**

SDGsを実践し、伝え続けて 20年!  
 リユース・リメイク・伝統の継承...20年間を  
 ぎゅっと詰めた1日をぜひ、あなたも一緒に!

10:45~11:15 講談「神田山緑さん・他」  
 11:30~12:15 着こなし術アドバイス  
 12:15~14:00 お茶席  
 13:00~15:00 ワークショップ体験  
 (新・金継ぎ、エコキャンドル、ちとちゃん他)  
 15:15~16:00 タケシィ 三線ライブ  
 随時：販売

チケット:2,000円 なくなり次第終了  
 申込・問合せ:エコメッセ各店舗  
 ecomessehonbu@gmail.com



第77回アドボカシーカフェ  
**政治参画のジェンダー平等**  
 ~最初の一步を踏み出して

**5月20日(土)13:30~16:00**  
 (受付 13:00~)

オンライン開催 参加費無料  
 先着 50名 \*申込締め切り 5/18 または定員に  
 達した時点の早い方

**ゲスト:統一地方選挙に挑戦した  
 パリテ・アカデミー卒業生たち**

パリテ・アカデミーは若手女性の政治リーダー  
 シップを培い、女性やマイノリティが政治に対  
 等に参加することで、誰をも排除しない社会(イン  
 クルージョン)を作ること、お互いの違いを尊  
 重する関係性(リスペクト)を築くこと、そして  
 女性の尊厳が守られ非暴力な世界、つまりは正義  
 (ジャスティス)にかなう社会の実現をめざし  
 ています。

申し込みフォーム →



主催：NPO 法人まちぽっと  
 ソーシャル・ジャスティス基金

## インクルファンド・サポーター登録のお願い

あなたの**1日10円**で、つながり・支えあう豊かなまちを!



サポーター登録していただいた方からの**毎月300円**の登録寄付を財源  
 に、居場所づくり、子育て支援、障がい者(児)支援事業など、様々な事  
 業や活動に費用を助成しています。ぜひサポーター登録して地域の活動  
 をご支援ください!

● 班・個別配送の方は注文用紙(OCR用紙)に下記6桁の注文番号と申込口数をお書きください。

インクルファンド登録寄付 1口300円(毎月)	
申込期間	3/20(月)~3/24(金)
注文番号	<b>111406</b>
集金月	2023年4月から <b>毎月</b>

生活クラブのインターネット注文 **eくらぶ** インターネット注文 **eくらぶ**からも  
 お申込みいただけます。(3月5回)

\*登録寄付は中止のお申し出がない限り続きます。  
 すでに登録されている方が申込みされると4月分の  
 請求が重複してしまうのでご注意ください

● デポ一組合員の方はWEBサイトから <https://www.inclusive-gr.com/supporter/>  
 ご登録いただくかお電話にてご連絡ください。



● お問い合わせ: インクルーシブ事業連合事務局 Tel:03-5426-5207 Fax:03-5426-5203  
 (生活クラブ東京 たすけあいネットワーク事業部内) 担当:平岡

# インクルーシブ通信

2023年4月  
 VOL. 43



発行:生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合 発行責任者:小寺浩子 <https://inclusive-gr.com/>

子育て支援フォーラム 2022

## 命を育む性教育

日本でイメージされている「性教育」は 妊娠・避妊・性感染症などに  
 留まりがちですが、実は自分の体は自分だけのもの、ということから他  
 人との関係性、情報とのつき合い方までとても幅広いものです。



講師の宮原由紀さん

インクルーシブ事業連合では、子育て支援に関  
 わる生活クラブ運動グループ団体との連携による  
 実行チームを立ち上げ、現場から見える課題など  
 テーマに毎年フォーラムを開催しています。今年  
 度は性教育をテーマに開催し、オンライン参加を  
 含む72人が参加しました。

基調講演として性についての正しい知識を発信  
 するWEBサイト「命育」(めいいく)代表の宮原由  
 紀さんのお話をお聞きし、運動グループの活動報  
 告として世田谷と稲城の取組みを共有しました。

高校生の主な「性交」情報源は「友人・先輩」  
 が男女ともにトップで、彼らもまた「インターネ  
 ット」や「アダルト動画」で知識を得ていること  
 を考えるとインターネットによる影響は大きいと  
 いうお話に、正しい情報を伝えることの重要性が  
 増していると感じました。また、国際基準の包摂  
 的性教育では、妊娠・出産などの知識に留まら

ず、人間関係や価値観、人権、文化、ジェンダ  
 ーの理解、性と生殖に関する健康等がコンセプ  
 トであることなど、日本の性教育との大きな違  
 いが感じられました。

運動グループの活動については出版社と連携  
 した親子で性について知るワークショップの  
 開催と、「性犯罪被害者への支援と性犯罪防止  
 の充実を求める陳情」提出の活動について世田  
 谷地域協議会の関口江利子さんから、まち稲城  
 が主催した助産師さんとの性教育講座の開催に  
 ついて稲城地域協議会の村上洋子さんより報告  
 されました。

参加者アンケートの回答でも、身近な生活の  
 中で性教育ができるようにしたい、まちの子育  
 てひろばメンバーでもあるので、なかなか話し  
 たいのに話せない性について企画しようと思っ  
 た、など、地域や家庭での取組みの拡がりの可  
 能性が感じられました。

## 出前講座報告



インクルーシブ事業連合では、地域協議会やブロッ  
 ク単協からの依頼を受けて出前講座を行っており、そ  
 の一つに運動グループによる福祉事業の見学会のコ  
 ーディネイトがあります。これを活用し、世田谷地域協  
 議会では昨年12月、「地域の居場所・まちのほっとス

ペース\*をつくろう!」を開催。ほっとスペース「ねこ  
 の縁がわみいの家」を会場に杉並区の「すてっぴ&  
 すきっぴ」、府中市の「テラツツア」の立上げから現  
 在の活動の様子をお聞きしました。

「すてっぴ&すきっぴ」では地域包括支援センタ  
 ーや保健センター等とつながり、地域に根付いた活  
 動を展開しており、ほっとサービスの依頼が多いこ  
 とも特徴の一つです。「テラツツア」は府中地域協  
 議会の市民版地域福祉計画で描いた居場所で、  
 立上げにあたってはインクルファンド助成を活用して  
 います。どちらの団体も、活動に関わるメンバーや  
 応援するサポーターを募集中です。

ぜひ皆さんの地域でも、出前講座のしくみを活  
 用して見学会や学習会を企画してみませんか?

\*まちのほっとスペースは「居場所」、「相談」、日常生活のちょっとした手助けを行う「ほっとサービス」の3つの  
 機能を持ち、「ワーカーズ・まちの縁がわ」が運営しています。

【インクルーシブ事業連合構成団体】生活クラブ生協・東京/NPO法人アビリティクラブたすけあい (ACT)/ACT  
 たすけあいワーカーズ・コレクティブ連合/NPO法人ACT人とまちづくり/社会福祉法人悠遊/東京ワーカーズ・コ  
 レクティブ協同組合/東京・生活者ネットワーク/東京CPB(コミュニティパワーバンク)/認定NPO法人市民シク  
 タンクひと・まち社/NPO法人まちぽっと/環境まちづくりNPOエコメッセ



## 東京・生活者ネットワーク

### 議会に生活者の声を！

生活者ネットワークは、各地域でさまざまな生活課題を解決するための「しくみ」を、議会を通して提案しています。ひとこと提案や市民からの相談、そして調査活動からも、一人ひとり異なる問題が見えてきます。

直近では、昨年の春から秋にかけて「まちのバリアチェック～身近な壁(バリア)をなくすために～」と称して、各ネットでもち歩きをしました。道路や公共施設のトイレなど文字通りハードとしてのバリアだけでなく、子どもたちが感じる日常のバリア(遊び場や学校のことなど)、防災対策での障壁など、当事者をまじえて調査し政策につなげました。



左:中野/視覚障がい当事者ととも道路チェック  
右:品川:3人の代理人もバリアチェックに参加

また、2020年末から1年をかけて行った「ケアラー支援プロジェクト」では、23人のケアラーにいてねいな聞き取りを行い、老々介護や多重介護、仕事・子育てのダブルケア、障がいのある子どもへのケアやヤング・若者ケアラーなど、多様なケアラー像を浮かび上がらせました。ケアラー・カフェを開催しているワーカーズ・コレクティブの協力も得て、ケアラーの本音を引き出したのは、運動グループとともに活動する生活者ネットワークならではの活動です。



ケアラー支援プロジェクトの調査報告会の様子



毎月11日前後に各所で行うフラワー遊説  
写真は2021年7月、国分寺駅前にて

生活者ネットワークとして続けているフラワー遊説は、DVや性暴力を許さない!というメッセージを発信するものです。心身を傷つけ、人生に大きな影響を及ぼす人権侵害として、暴力防止や被害者支援の政策提案に力を入れています。提案の中にはインクルーシブ事業連合が子育て支援フォーラムのテーマとして取り組んでいる性教育も入ります。



1月31日の東京ネット新春のつどいに参加した候補予定者たち

ほかにも協同労働への支援やコミュニティづくり、子ども食堂など「ささえあうまち」をつくるための政策提案を自治体に対し行っています。生活者ネットワークの議員は市民の代理人として日々奮闘しています。

その代理人を送り出すための統一地方選挙が4月に行われます。23のネットから39人がチャレンジする予定です。市民政治を展望する生活者目線の議員を増やし、人がささえあう地域を共に作りましょう。

**NET 東京・生活者ネットワーク**

新宿区歌舞伎町 2-19-13ASKビル 4・5階  
TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274

## 介護保険 2024 制度改定 ココが問題！



インクルーシブ事業連合では、福祉事業に係る運動団体と介護保険PJを立ち上げ、制度の課題や2024年度改定の問題点について共有し、1月28日にはNPO渋谷介護サポートセンター理事長、服部メディカル研究所所長、看護師、社会福祉士、主任介護支援専門員の服部万里子さん(写真)を講師に、私たちが特に問題だと考える3点を中心にお話いただきました。

### ●2割負担の拡大で利用控え→悪化につながる

現在、利用者の自己負担はほとんどが1割負担に該当していますが、年間所得280万円以上としている2割負担の対象者を200万円に引下げの案が検討されています。現在の自己負担1割でも経済的に苦しくサービスの利用を減らす人がいる中で、2割負担を標準化することで多くの人が必要なサービス利用を減らし、その結果、重度化し介護度が上がり、さらに深刻な状態になってしまいます。

### ●ケアマネジメントに有料化はそぐわない

ケアマネジャーが提供するケアマネジメントは、介護保険サービスの入り口です。入り口からお金がかかることで要介護認定を受けても介護保険を利用することへのハードルが上がります。また、ケアマネジャーは介護保険にとどまらず、医療・福祉・地域の社会資源との連携が

必須なソーシャルワーク機能を果たしています。児童相談、障害相談、貧困相談でも金を取る相談はありえません。国の介護保険負担を減らすためにソーシャルワーク機能を有料化すべきではありません。

### ●要介護1・2の市町村事業への移行は危険

介護サービス認定者の37%を占める要介護1・2を軽度者と位置付け、訪問介護と通所介護を保険給付から外し、市区町村の総合事業に移行する提案がされています。要介護1・2は認知症の利用者も多く予期せぬ行動に出ることがあるため、介護士の専門的な対応が必要です。「軽度者」の概念が現場とかけ離れています。また、介護予防サービスが受けられる要支援1・2がすでに市町村事業へ移行していますが、日常的な介護が必要な要介護1・2の受け皿として質・量ともに整備されていないのが現実です。これでは保険料を支払ってもサービスが利用できない介護難民が出るのが懸念されます。

介護保険が利用しにくくなることは高齢者だけの問題ではありません。介護離職、ヤングケアラーなどが問題になっている今、安心して利用できる介護保険の役割はすべての世代にとって重要です。参加者からも、問題点を多くの人に知ってもらい、みんなの力を結集して良い制度に変えていきたい、大切な財源をきちんと成果の上がる制度に整えていくには、市民の立場で声をあげていくことも必要だと再認識できたとの感想がありました。

## 声をあげよう!~厚労省へ要望書を提出



昨年12月2日、衆議院議員の大河原まさこさん(前列)とともに、厚生労働省に要望書を提出し、①自己負担2割を標準化しないこと、②ケアプランを有料化しないこと、③要介護1・2の訪問介護、通所介護を地域支援・総合事業に移行しないことの3点を要望しました。

担当者からの回答は、2021年度改正介護保険法案でも議論され、引き続き検討している事項であり、現在具体的に決まっていない。意見を受け止め検討していくという内容にとどまりました。

その後、厚労省はケアマネジメントの有料化と要介護1・2の訪問介護・通所介護を市区町村の事業に移行する案について今回は見送り、3年後の見直しで結論を出す、自己負担の拡大は今年の夏までに結論を出すという方針を示しました。

介護の社会化を止めないために、介護に関わる団体や市民は連携して動きをつくり、世論のうねりをつくりましょう!

インクルーシブ事業連合事務局 平岡晴子